

教科	農業	科目	農業土木施工	単位数	2 単位	学年	3 年	コース	F森林工学コース
使用教科書	農業土木施工 文部科学省			使用副教材等	なし				

目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業土木事業における施工と管理に必要な資質・能力を育成することを目指す。		
評価の観点	知識・技能 農業土木施工について、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	思考・判断・表現 農業土木施工に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わるものとして合理的かつ創造的に解決する力を養う。	主体的に学習に取り組む態度 農業土木施工について自然環境や安全に配慮し、合理的な施工・管理ができるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
評価方法	・定期試験 ・小テスト ・実習状況の観察 (実習内容を理解し、行動することができるか)	・定期試験 ・小テスト ・実習状況の観察 (実習内での自身の役割を把握し、的確に判断できているか)	・授業態度の観察 (主体的・協働的に取り組んでいるか、ノートへの記入はしっかりできているか)

担当者からのメッセージ	・座学と実習とのつながりを意識して授業に取り組んでください。 ・実習では特に時間厳守を意識し、服装や身だしなみを正しく整えて授業に臨むようにしてください。
-------------	--

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4 ～ 7	○授業オリエンテーション ・授業の進め方や実習に関する諸注意、評価の仕方などを学ぶ	(知):知識・技術 (思):思考・判断・表現 (態):主体的に学習に取り組む態度
		○コンクリート工 ・コンクリートの性質について理解する ・コンクリートの配合について理解する ・コンクリートの施工について理解する	・土木事業の中でコンクリート工が重要な役割を担っていることを理解している(知) ・セメントの諸性質を理解している(知) ・コンクリートの諸性質を理解している(知) ・コンクリートを適所に使うことができる(知)(思) ・コンクリートの構成材料のセメント・骨材・水・混和材料について、その種類や品質を理解している(知) ・モルタルを材料から作ることができる(知)(思) ・周囲と協力し、最後まで粘り強く実習に取り組むことができる(態)
2	8 ～ 12	○基礎工 ・基礎工の種類と特徴について理解する ・基礎地盤の支持力について理解する ・根掘り工について理解する ・直接基礎工について理解する ・杭基礎工について理解する ・ケーソン基礎工について理解する	・構造物をさせる基礎について理解を深める。(知) ・上部構造物や荷重の種類および地盤により形式、工法が違うことを理解している(知)(思) ・地盤掘削について理解し、代表的な4工法の特徴を理解している(知) ・支持基礎が地表面から浅いところで得られる場合の直接基礎工の種類や役割について理解している。 ・杭基礎工について、杭の種類と用途について理解できている(知)(思) ・ケーソン基礎工の特殊性や工法について理解している(知)
3	1 ～ 3	・振り返り	・農業土木施工の授業を振り返り、農業土木に関する課題を発見し解決策を考えることができる(思)(態)